

紹介受診重点医療機関の選定に係る  
確認・協議対象医療機関一覧  
(仙台区域)

## 1 確認対象医療機関一覧

## 2 協議対象医療機関一覧

# 1 確認対象医療機関一覧

既に紹介受診重点医療機関として公表されており、かつ、**基準を満たし、意向がある**以下の医療機関は、**確認対象**となるため、**紹介受診重点医療機関を継続**する。

No	医療機関名	基準：重点外来割合		参考			
		初診 (40%以上)	再診 (25%以上)	許可病床数 (一般)	紹介率 (水準:50% 以上)	逆紹介率 (水準:40% 以上)	備考
1	東北大学病院	68.2%	27.5%	1,118	89.2%	121.2%	特定機能病院
2	仙台厚生病院	84.3%	52.3%	409	99.1%	193.1%	地域医療支援病院
3	独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台病院	52.3%	39.6%	384	68.7%	86.6%	地域医療支援病院
4	独立行政法人労働者健康安全機構東北労災病院	69.1%	27.5%	548	78.3%	113.5%	地域医療支援病院
5	宮城県立こども病院	50.3%	26.3%	241	101.5%	59.3%	地域医療支援病院
6	国家公務員共済組合連合会東北公済病院	66.4%	37.3%	385	67.9%	48.1%	地域医療支援病院
7	公益財団法人 仙台市医療センター 仙台オープン病院	68.5%	59.4%	330	89.8%	117.5%	地域医療支援病院
8	東北医科薬科大学病院	75.4%	31.3%	554	71.4%	96.5%	地域医療支援病院
9	独立行政法人国立病院機構仙台医療センター	72.5%	35.6%	628	89.8%	92%	地域医療支援病院
10	仙台東脳神経外科病院	87.5%	30.9%	93	26.4%	14.1%	
11	東北医科薬科大学若林病院	54.8%	33.6%	127	55.7%	53.3%	
12	仙台市立病院	69%	32.2%	467	83.2%	95.5%	地域医療支援病院
13	一般財団法人広南会 広南病院	86.1%	28.6%	209	83.4%	56.7%	
14	仙台赤十字病院	61.7%	32.3%	389	71.2%	91.8%	地域医療支援病院
15	医療法人 徳洲会 仙台徳洲会病院	54.3%	34.3%	350	62.8%	75.1%	
16	公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院	44.1%	31.4%	357	99.9%	140.7%	地域医療支援病院
17	宮城県立がんセンター	100%	100%	383	66.7%	43.4%	

## 2 協議対象医療機関一覧

**基準を満たし、意向がない以下の医療機関は、協議対象となり、反対意見がなかった場合は紹介受診重点医療機関にならない。**

### ① 基本データ

No	医療機関名	基準：重点外来割合		参考			
		初診 (40%以上)	再診 (25%以上)	許可病床数 (一般)	紹介率 (水準:50% 以上)	逆紹介率 (水準:40% 以上)	備考
1	医療法人宏人会 木町病院	44.6%	93.3%	53	54.3%	0.8%	

### ② 意向無しとする理由

No	医療機関名	意向無しとする理由（対象医療機関から報告を受けた内容）	備考
1	医療法人宏人会 木町病院	当院は53床の病床を有する回復期の病院です。 特に高度な医療を提供するための設備を備えておらず、主に透析患者のかかりつけ医としての病院として運営しているため。	—

## 2 協議対象医療機関一覧

既に紹介受診重点医療機関として公表されており、かつ、**基準を満たさず、意向がある**医療機関は、協議対象となり、反対意見がなかった場合は**紹介受診重点医療機関を継続**する。

### ① 基本データ

No	医療機関名	基準：重点外来割合		参考			
		初診 (40%以上)	再診 (25%以上)	許可病床数 (一般)	紹介率 (水準:50% 以上)	逆紹介率 (水準:40% 以上)	備考
1	一般財団法人宮城県成人病予防協会附属仙台循環器病センター	35.6%	26.1%	116	33%	73.9%	左記の医療機関については、令和6年度報告分においても、協議対象となっており、反対意見がなかったことから、紹介受診重点医療機関となっている。

### ② 基準を満たさなかった理由、今後の見通し等 … 資料1-3のとおり

## 紹介受診重点医療機関の選定に係る意向調査票

### 1 対象医療機関について

医療機関名	一般財団法人宮城県成人病予防協会附属仙台循環器病センター
協議対象とした理由	既に紹介受診重点医療機関として公表されており、 令和7年度外来機能報告において <b>基準を満たさず、意向がある</b>

### 2 対象医療機関から報告があった内容をまとめたもの

#### (1) 基準を満たさなかった理由

初診における医療資源を重点的に活用する外来（重点外来）の割合が令和3年度41.1%→令和4年度35.8%→令和5年度35.6%→令和6年度35.6%となっておりますが、冠動脈CT、心臓MRIなど高額の医療機器を使用した外来診療は前年度の水準を維持しているのですが、これらの画像診断は予約制であることや、事前説明等の準備があることから診察日とは別日の検査となってしまう、重点外来の件数にカウントされないケースが多いため、データ上、重点外来の割合を満たせませんでした。

#### (2) 紹介受診重点医療機関を継続することによる自院への影響

循環器疾患専門病院として今後も地域で診療を継続する方針ですが、医師の働き方改革もあり、診療の比重を地域でのニーズが高い救急、入院医療に集中させる必要があると引き続き考えています。紹介受診重点医療機関として継続していくことで慢性期はかかりつけの先生方に治療をお願いし、状態悪化時や専門的な精査が必要な際は当院へという地域の医療の役割分担が明確となり、患者への説明の負担も軽減し結果的に医師のリソースを有効に活用することにつながり、患者さんに最適な医療を提供できると考えられます。

#### (3) 紹介受診重点医療機関を継続することによる地域への影響

メリットとしましては、当院が紹介受診重点医療機関を継続して地域での役割分担を明確化することで、慢性期はかかりつけ医を、増悪時等は当院を利用するという使い分けを患者さんに受入れていただくことが容易になることが期待されます。当院が紹介受診重点医療機関を継続することで地域の他の医療機関の負担が増えることはなく、特にデメリットはないものと思われれます。

#### (4) 今後の基準達成の見込み

CT、MRI等については地域の先生方に利用してもらえるよう積極的に昨年に引き続き広報活動を継続しており、令和6年度はCTが5,000件、MRIは380件をそれぞれ超える実績を上げています。また、救急車の受け入れを強化しており、これに応じてCTの実施件数も増加しており、今年度は令和6年度に比べ救急車は1.3倍、CTは1.2倍の件数になっております。ただし、上記の通り200床未満である当院は、選定療養費徴収による紹介受診への誘導ができない点をご勘案いただき、努力目標として継続的な取り組みを行っていくことをご理解を賜りたい意向です。

#### (5) 次年度以降における意向継続の予定

循環器内科、心臓血管外科の医師のリソースには限りがあります。働き方改革も見据え、診療の比重を専門的な初診、救急診療、入院診療に集中させる必要があります。よって、調整会議のご理解がいただけましたら当院としては昨年に引き続き紹介受診重点医療機関の役割を地域で担わせていただければと考えております。